

研究主題

振り返りを重視した  
探究的な学習のカリキュラム・デザイン  
～自ら考え主体的に社会参画していく生徒の育成を目指して～

主催 お茶の水女子大学附属中学校

後援 お茶の水女子大学学校教育研究部

お茶の水女子大学附属中学校研究協議会のご案内を申し上げます。

今年度は、「振り返りを重視した探究的な学習のカリキュラム・デザイン～自ら考え主体的に社会参画していく生徒の育成を目指して～」を研究テーマとして設定しました。各教科等の「探究的な学習」を目標に向かって試行錯誤しながら進んでいく過程として捉え直し、自ら学習を調整する「振り返り」を生徒にいかにつけて支援していくかを考究しております。あわせて、「コミュニケーション・デザイン科」の実践研究（平成26～29年度）で明らかにされた協働的な課題解決力の育成方法を、各教科、道徳、総合的な学習の時間などでどのように進化させるのかを研究課題としております。

ご多用のこととは存じますが、是非ともご参加頂き、ご指導ご助言を賜りたくお願い申し上げます。

2019年9月18日

お茶の水女子大学附属中学校  
校長 池田全之

【キーワード】

資質・能力、自己調整、  
主体的・対話的で深い学び、  
批判的思考、ICT活用、  
カリキュラム、SDGs



日程

令和元年10月26日(土) 9:00～16:10 (受付 8:20～)

8:20	9:00～9:15	9:30～10:20	10:35～11:25	11:40～12:30	13:00～14:15	14:40～16:10	16:10	
受付	基調発表	授業Ⅰ 社理美 保体家 総合	授業Ⅱ 国数音 英総合	ランチ ミーティ ング 総合 ICT活用 昼食	教科 分科会 国社数 理音美 家保体英	移動	講演会	閉会

※授業Ⅰ、授業Ⅱ、教科分科会の会場は、当日にお示しいたします。

## 9:30~10:20 授業 I

教科(年)	授業者	単元・題材	参観者の皆様へ
社会 (2年)	木村 真冬	日本の人口 ～増加する 外国人人口～	人口の分布や特色, 課題を振り返り, 諸地域の学習も結び付けながら, 多文化化が進む社会のこれからのあり方について考えてみます。
理科 (3年)	前川 哲也	理科で読み解く 百人一首	百人一首には「月」が出てくるものが12首あります。授業ではこのうち一首を取り上げ, その現代語訳(分析・解釈)を「月」に関する知識・技能を基に検討・改善していきます。古典の奥の深さとそれを読み解くのが理科の知識という意外性も感じ取ってほしいと思います。
美術 (2年)	桐山 瞭子	誰かのための デザイン	目的や機能を考えて制作する工芸作品。作品に生徒たち一人ひとりの「誰かのために」を設定することで, デザインすることや制作する過程を振り返ることの意味を深めていきたいと思っています。
保体 (1年)	君和田雅子	性の多様性を知る ①～〇〇らしさって なんだろう?～	ひとりひとりが自分自身の〇〇らしさを見つけ, 違いがあって当たり前だということを, 中学生になって初めての保健の授業で学んでいきます。
家庭 (3年)	有友 愛子	Keep in mind! ～ちょっとした 工夫で～	岩手修学旅行等での学びを「幼児の生活と家族」の学習と関連付け, 大学構内を一つの“地域”として捉え, 災害時に「地域を支える一員として自分にできること」を考えていきます。
総合★ (1年)	寺本 誠 渡邊 光輝	多様性との出会い ～特別支援学校 卒業生との 交流を通して～	【コミュニケーション・デザイン】 特別支援学校卒業生との出会いや模擬体験を通して得た気づき, 思いや考えの変容などを個で振り返り, それをフォトストーリーの形で共有していきます。

## Lunch time

## 11:40~12:30 ランチミーティング(合併室前・後)

本校教員と参加者の皆様とで質疑応答, 情報交換を行います。(昼食等は各自でご用意ください。)

内容	参加者の皆様へ
総合	「自主研究」と「コミュニケーション・デザイン」の取組について概説した上で, 質疑を受けます。資質・能力, カリキュラム, SDGs の取組などを話題にします。
ICT 活用	テーマは「一人一台端末環境での授業の工夫について語り合う」です。本校で導入が進められている Google for Education の活用に関して, Chromebook の操作体験を交え紹介します。

## ★本校の「総合的な学習の時間」の2本柱★

## 【自主研究】

生徒一人ひとりが自分の興味・関心のあるものの中から課題を設定し, 自分なりに方法を考え, 試行錯誤しながら課題を追究し, 成果をまとめて工夫して発表する研究活動です。40年以上続ける中で文科省研究開発学校の研究の成果も生かしながら改善を加え, 現在に至っています。

## 【コミュニケーション・デザイン(CD)】

よりよい社会の実現に向けた課題発見・解決・探究のために, 様々なツールを活用して思考・発想し, 他者と対話・協働しながら, 思いや考えなどを伝達・発信するための統合メディア表現を工夫して, 効果的なコミュニケーションを創出する能力と態度を育てる取組です。平成27~29年度文科省研究開発学校での「コミュニケーション・デザイン科」の成果を基に実施しています。

## 10:35~11:25 授業II

教科(年)	授業者	単元・題材	参観者の皆様へ
国語 (3年)	宗我部 義則	対話で深める	「誰かの代わりに」(鷲田清一)を、文章中の筆者と対話し、クラスの仲間と対話しながら、読み深めていきます。感性的な思考を大切にしながら論理的に話し合う読みの場を作り出したいと考えています。
数学 (1年)	松本 純一	一次方程式	多様な解法を考える中で、数量関係について深く捉え、式の意味を他者に伝え合ったり、他者とのやりとりから新たな問いを見いだしたりする授業を公開します。
音楽 (3年)	中山 由美	ミュージック・トーク ～音楽で語り合おう～	みんなで聴きたい自分が選んだ音楽をグループで一緒に聴き、音楽について語り合う時間です。音楽の紹介者とオーディエンスそれぞれの立場からその音楽の魅力を発見していきます。
英語 (2年)	関口 智	Career Experience (to不定詞)	英語を使う様々な場面の中で、即興的に「やり取り」を楽しみ、時には思考を深めながら、コミュニケーションに必要な資質・能力の育成を図ります。
総合★ (3年) (1年)	佐藤 吉高 渡邊 智紀	自分の“好き”を探究しよう!	【自主研究】 自分の好きなテーマをとことん突き詰めた成果・課題や、研究における成功・失敗・克服法について、3年生が1年生に発表します。
総合★ (2年) (3年)	大塚 みずほ 藤原 大樹	社会の問題解決に向けて協働しよう!	【コミュニケーション・デザイン】 「東京のまちづくり」のプロジェクト学習(3年生)と林間学校に関する事後学習(2年生)について、生徒が発表します。

※今年度、技術は公開いたしません。

## PM

## 13:00~14:15 教科分科会

「探究的な学習」や「自己調整」を主な視点として、公開授業や教科の取組について協議します。

教科	助言者の先生方(所属)	教科	助言者の先生方(所属)
国語	澤本 和子 (元日本女子大学)	美術	春日 明夫 (東京造形大学)
社会	富士原 紀絵 (お茶の水女子大学)	保健体育	藤山 新 (首都大学東京)
数学	加々美 勝久 (お茶の水女子大学)	家庭	西村 純子 (お茶の水女子大学)
理科	森 義仁 (お茶の水女子大学)	英語	久保野 雅史 (神奈川大学)
音楽	木下 和彦 (淑徳大学)		

## 14:40~16:10 講演会(大学講堂)

**講師** : 京都大学大学院教授 **楠見 孝**

**演題** 「批判的思考力を育む ～振り返りを重視した探究的な学習を通して～」

認知心理学 教育心理学 認知科学

新曜社『批判的思考』(共著) など著書多数

## 会場・アクセス

お茶の水女子大学附属中学校 (〒112- 8610 東京都文京区大塚 2-1-1)



【東京メトロ（地下鉄）丸ノ内線】  
「茗荷谷駅」より徒歩7分

【東京メトロ（地下鉄）有楽町線】  
「護国寺駅」より徒歩13分

【都バス】  
「大塚2丁目 停留所」  
より徒歩1分  
(都02系統 大塚駅～錦糸町駅)  
(都02乙系統  
池袋駅東口～東京ドームシティ)

## 申し込み、持ち物、参加費など

**事前申し込みのみ** とし、**令和元年10月23日(水)17時〆切**とします。

本校HP上のフォーム (<http://www.fz.ocha.ac.jp/ft/>) からお申し込みください。  
当日申し込みはできません。

**①「申し込み後の受付済みメール」と②「顔写真付きの身分証明書」を持参**し、大学守衛所と附属中学校受付で**①②**をご提示いただきます。  
**①②**をお忘れの場合は入構できませんので、くれぐれもご注意ください。

ランチミーティングを申し込まれた方は昼食をご準備ください。

**参加費 2000円（資料代）**

**画像・映像・音声等の記録を禁止**します。

【問い合わせ先】

研究帰国部主任 蘭部幸枝

住所 : 〒112- 8610 東京都文京区大塚 2-1-1

電話 : 03(5978)5862

E-mail : chu-koukai@cc.ocha.ac.jp

HP : <http://www.fz.ocha.ac.jp/ft/>



本校「自主研究」についての書籍を明石書店様より昨年発刊いたしました。